

鹿児島学習定着度調査結果について

5年生を対象にした「鹿児島学習定着度調査」を、1月18日(火)、19日(水)に行いました。本校児童の結果と県全体の平均を比較してみると、算数では、県を上回っているものの、国語、理科、社会については、下回る結果となりました。

日頃から学力向上のために取り組んできていますが、今回の結果から、学力向上のために、より一層の改善に取り組んでいきます。

	県	本校
国語	72.3	72.2
社会	80.0	77.8
算数	70.6	73.0
理科	73.2	67.2

上回っている～太字
下回っている～斜体

〔今後の対策〕

国語～ 市の平均正答率は上回っていますが、県をわずかに下回る結果となりました。「書くこと」「話すこと・聞くこと」の内容の正答率を上げるために、日々の学習の中で、感想文を書いたり日記を書いたりする中で、主語と述語、修飾語のはたらきを意識して使うことで、関係の理解を深めるようにします。また、教科書の資料を読み取る際に、「キーワード」となる言葉を見付け、アンダーラインを引いたり印を付けたりしながら、解決のための方法も考えさせていきます。

社会～ 市の平均正答率は上回っていますが、県を下回る結果となりました。国土に関する大陸名や領土等については、デジタル教科書で視覚的に確認させていきます。また、日本各地の都市の気候の様子についても、雨温図と気候区分を照合することで、特徴をつかませ、自分の言葉で説明する時間を確保していきます。

算数～ 県や市の平均正答率を上回っていますが、問題文を読み取る際に、「分かっていること」「尋ねていること」を明確にもたせるために、アンダーラインを使い分けて、条件に合う数字を見付け立式できるように手順を確認させます。また、グラフの数値から変化の様子を読み取るためには、目盛りの違い、変化量の大きさに着目させながら、自分の考えをまとめ、説明する文章を書く時間を確保し、理解を深めさせていきます。

理科～ 県や市の平均正答率を下回る結果となりました。生き物の様子や気象について、観察したり、デジタル教材で学習したりしたことを、自分の言葉で表現し、学習を通して分かったことを明らかにすることで、自分の考えを明らかにする習慣を身に付けさせていきます。また、実験の目的を明確にして、実験の結果をもとに考えさせ、「なぜ、そのようになったのか」を常に考えさせていきます。

その他～ 自分の考えをノートに書き表し、考えを整理するためには、ノート作りが大切です。板書されたことを書くことだけでなく、自分の考えたことを記録しておく、ノートを見直す際に自分の考えをたどることにつながります。限られた時間の中で、短時間でノートに「書く」作業がスムーズにできるように、日頃から「書く」習慣を身に付けさせ、学力向上につなげていきます。